

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 5 月 30 日(2023.5.30)

【公開番号】特開 2022-139122(P2022-139122A)
【公開日】令和 4 年 9 月 26 日(2022.9.26)
【年通号数】公開公報(特許)2022-176
【出願番号】特願 2021-39367(P2021-39367)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 5/04 6 0 1 B

A 6 3 F 5/04 6 9 9

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 22 日(2023.5.22)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

遊技の進行を制御可能な第 1 制御手段と、

演出を制御可能な第 2 制御手段と

を有し、

第 1 制御手段は、所定条件を満たした場合に設定値が変更可能な設定変更モードを実行可能であり、

30

第 2 制御手段は、遊技者によるストップスイッチの操作態様に関する情報と、ストップスイッチの操作態様の報知に関する情報と、を複数回分記憶可能であり、

第 2 制御手段は、設定変更間の出玉情報を複数回分記憶可能であり、

所定条件を満たして設定変更モードが実行された場合でも第 2 制御手段が記憶している遊技者によるストップスイッチの操作態様に関する情報と、ストップスイッチの操作態様の報知に関する情報と、はクリアされず、

所定条件を満たして設定変更モードが実行された場合でも第 2 制御手段が記憶している設定変更間の出玉情報はクリアされず、

遊技機で発生し得る或る事象を検知可能であり、

或る事象に関する履歴を表示可能な履歴画面が表示手段に表示可能であり、

40

履歴画面に表示可能な或る事象に関する履歴には、或る事象に関する時刻を含み、

或る事象には所定の事象を含み、

全てのリールが回転しているときに所定の事象が発生した場合は、全てのリールが停止した後のタイミングに関する時刻が当該所定の事象に関する時刻として履歴画面に表示可能である

遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明（第11及び第17実施形態）は、
遊技の進行を制御可能な第1制御手段（メイン制御基板50）と、
演出を制御可能な第2制御手段（サブ制御基板80）と
を有し、

第1制御手段は、所定条件を満たした場合に（設定キースイッチ152をオンにした状態で電源をオンにすると）設定値が変更可能な設定変更モードを実行可能であり、

10

第2制御手段は、遊技者によるストップスイッチの操作態様に関する情報（押し順）と、ストップスイッチの操作態様の報知に関する情報（指示モニタ情報）と、を複数回分記憶可能であり、

第2制御手段は、設定変更間の出玉情報を複数回分記憶可能であり（図190）、
所定条件を満たして設定変更モードが実行された場合でも第2制御手段が記憶している遊技者によるストップスイッチの操作態様に関する情報と、ストップスイッチの操作態様の報知に関する情報と、はクリアされず、

所定条件を満たして設定変更モードが実行された場合でも第2制御手段が記憶している設定変更間の出玉情報はクリアされず（図197）、

遊技機で発生し得る或る事象（図310に示す、エラー履歴画面に表示される事象）を検知可能であり、

20

或る事象に関する履歴を表示可能な履歴画面が表示手段（画像表示装置23）に表示可能であり（図310等）、

履歴画面に表示可能な或る事象に関する履歴には、或る事象に関する時刻を含み、

或る事象には所定の事象（エラー）を含み、

全てのリールが回転しているときに所定の事象が発生した場合は、全てのリールが停止した後のタイミングに関する時刻が当該所定の事象に関する時刻として履歴画面に表示可能である

遊技機である。

30

40

50